

令和2年度 事業報告

I. 主要事業の取組み

令和2年度は以下の4点を年度目標として事業運営を行った。

① **事業の総収入は、30億円を確保し、経営計画（5か年）の達成を図る。**

健康診断事業、作業環境測定事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による受託事業場の減少に起因する受診者の減少のため、総収入は約29.6億円となり年度計画を達成することができなかった。

② **「働き方改革」を実現するため、「健康経営」を推進する。また地域・職域でも、「健康経営」の普及・拡大を支援する。**

「健康経営」については、健康経営推進チームが中心となって施策立案し、常勤理事会の決定を経て、健康経営実践担当者が各部署での中心的役割を果たし「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）ホワイト500」に認定された。また、2事業場で「健康経営支援事業」を開始し、いずれの事業場も「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」に認定され、新たな事業として順調な滑り出しとなった。

③ **評価に客観性があり、説明責任が果たせ、透明性が高い、人材を育成するための新人事給与制度を確立する。**

従来の年功序列に基づく制度を改め、職員の能力・業績・意欲が正当に評価される新人事給与制度を確立し、12月給与より移行した。令和3年4月から、全面的に新制度へ移行するため、関連規程等の整備を引き続き実施している。

④ **高額な医療機器等固定資産の保守管理を徹底し、突発的かつ多額な支出の抑制とその他無駄な経費の削減に努める。**

経費については、予期せぬ新型コロナウイルス感染症関係の支出のため、期中で見直しを行い、設備投資の一部を次年度に繰り越すなど、一般費用の支出を極力抑えた。また、高額な医療機器等固定資産の保守管理に努め、出来る限り無駄を省き経費の削減に努めた。

1. 健康診断事業（表1「令和2年度健康診断等の実績」参照）

健康診断事業の実績は、受診者数は延べ38.9万人、収入は2,846百万円であり、計画と比較すると、受診者数は約3.9%減少し、金額は約1.9%減少した。

(1) 労働健診

労働安全衛生法等に基づく一般健診、特殊健診等の実績は、受診者数 27.9 万人、金額 1,444 百万円であり、計画との比較では、受診者数は約 2.2%減少し、金額も約 1.9%減少した。

一般健診については、新型コロナウイルス感染症の影響による実施の遅れは検診所間の応援により取り戻せたが、健康診断の中止や、受診控えが発生したことに加え、福山に本社がある大口事業場が当協会の利用を取りやめたこと等の要因により減収となった。

(2) 生活習慣病予防健診

全国健康保険協会（協会けんぽ）および組合健康保険組合から受託する生活習慣病予防健診の実績は、受診者数 7.9 万人、金額 1,254 百万円であり、計画との比較では、受診者数・金額とも約 0.4%減少した。

一般健診から生活習慣病予防健診への移行を前年同様推進する予定であったが、一般健診と同様に新型コロナウイルス感染症の影響による実施の遅れへの対応に追われたことと、検査内容の縮小や受診控え、他機関からの受託健診であった福山に本社がある大口事業場が当協会の利用を取りやめたこと等の要因により減収となった。

(3) 正規人間ドック・労災二次健診等

今年度より、福山本部健診センターにおいて、健診当日医師による画像及び血液検査結果等の結果説明、保健師あるいは管理栄養士による保健指導を行う本格的人間ドックを開始した。

結果については、受診者一人ひとりを個別化し、当日の結果説明や保健指導の内容に即した医師によるコメントを付記した付加価値の高い報告書の作成を実現した。

尾道検診所においても、令和3年度の実施を目指し体制の構築を図った。

また、労災二次健診と特定保健指導の実績を増やすべく、受診者獲得のための準備委員会を設立し、実績向上のため問題点等の抽出を行って施策を立案し、大幅な増加につながった。

(4) 住民健診等

尾道市、江府町他各地域の住民健診等の実績は、受診者数は延べ 2.2 万人、金額は 93 百万円であり、計画との比較では、受診者数は約 30%減少し、金額も約 23%の減少となった。

これは、新型コロナウイルスの感染症対策として三密防止のため、自治体に

より受診者数が制限されたことと、受診控えに起因する。また、風疹抗体検査実施数を計画ではこの住民健診等の項目に計上していたが「労働健診その他」に計上を変更したことも要因の一つである。

(5) 胸部CT検査・胃部内視鏡検査

胸部CT検査の実績は、受診者数 1,788 人で、計画と比較すると 15.1%減少した。これも新型コロナウイルス感染症による中止と受診控えによる減少が大きい。

胃部内視鏡検査は、福山・尾道・鳥取・米子を合わせて受診者数 3,331 人で、計画と比較して 1.3%の増加となった。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言による検査中止や、胃部内視鏡から胃部X線検査に変更された影響があったものの、福山・鳥取及び米子での内視鏡医師勤務日数の増加に伴い、実施日数が増えたことにより減少分をカバーすることができた。

(6) 社会的弱者健診

特別養護老人ホーム等の施設利用者に対して 15 施設、327 人の胸部 X 線検査を無料で実施した。

(7) オプション検査の推進

高齢化社会における高齢者の健康の保持・増進に貢献するため、種々のオプション検査を導入し、それらを組み合わせたコースを設定し拡大に努めた。

今年度、新たなオプション・コースとして、軽度認知障害(MCI)を早期発見するための認知機能検査「あたまの健康チェック」と、血圧脈波検査と頸動脈超音波検査を組み合わせた「脳・血管いきいきセット」を新設した。従来より定期的に施行していたロコモ健診では、筋骨格筋量測定(Inbody測定)を加えた「サルコペニア予防セット」を新設し、高齢労働者に対する国の支援策である「エイジフレンドリー補助金」等を活用し、更なる推進を図った。

また、新たなオプション検査として View アレルギー39、アルコール遺伝子検査等を導入した。

(8) げんきサポートクラブ

福山本部において、定年退職者や主婦、個人事業主等、健診を受ける機会がない方々に健康診断受診の機会を提供することを目的として、健康診断以外の付加サービスを加えた“げんきサポートクラブ”(会員制)を運営している。

今年度は新たな取り組みとして、気軽に特定健診やがん検診を受診いただくためのイベント「健診行こうDay!」を創設し4回開催、会員の満足度向上と

新規会員の拡大を図った。「健診行こうDay！」では、高齢者向けに新たに新設したオプション検査の「脳・血管いきいきセット」や「サルコペニア予防セット」を実施し、好評を得た。

2. 保健指導・健康教育事業（表2「保健指導等の実績」参照）

多くの地域住民や働く人々の健康の保持・増進や高齢者のフレイル予防を図る観点から、保健指導・健康教育・運動指導を広く展開した。

その趣旨から令和3年2月に福山市と「健康増進に関する連携協定」を締結した。その項目は、①特定健診、がん検診、歯周病検診の受診率向上に関する事、②働きざかり世代に対する健康増進の啓発に関する事、③働きざかり世代に対する「健康経営」の支援に関する事、④フレイル予防や健康づくりの普及開発に関する事、⑤地域での健康講座への協力に関する事、である。今後福山市と連携することにより、より効果的に市民の健康の保持増進に寄与して行く。

(1) 産業医契約事業場に対する活動

産業医契約事業場である109事業場（58企業）に対して、契約に基づき健康診断の事後措置、ストレスチェックによる高ストレス者面接、復職面談、職場巡視および安全衛生委員会への出席、健康講話の実施などの活動を行った。

(2) 保健指導

保健指導は13事業場（11企業）に対して個別指導、集団指導を行った。

福山では、4月より「人間ドック・プレミアムコース」を開始し、当日に保健指導を174人に対して実施した。また、労災二次健診は各部署が連携して受診勧奨、帳票や結果作成の手順の見直しを行い、受診者本人の同意を得た上で、当日の医師による結果説明・保健指導を実施することにより受診増を図った。さらに尾道・鳥取においても順次労災二次健診を開始し、本年度211名実施した。

特定保健指導については、特に「協会けんぽ」と連携し実施拡大を図った。同時に帳票や運用の見直しなど業務改善を行い本年度165事業場（23健康保険組合・2委託機関）に対し、積極的支援937人、動機付け支援681人および動機付け支援相当6人に指導を行った。また、健康診断当日に腹囲・血圧測定結果等その時点で判明している結果により対象となった人に初回面接を行う「分割実施」は34事業場124名に実施した。さらに新たに健康保険組合と契約を締結し、「人間ドック・プレミアムコース」の保健指導時に初回面接を行う、「当日一括実施」の取組みも始めた。健康診断受診時は受診者が自身の健康に対して関心を

高めている時でもあり、「人間ドック・プレミアムコース」では検査結果も判明していることもあり、対象者への意識づけの効果も高く、生活習慣改善のきっかけとなることが期待できる。

(3) メンタルヘルス支援事業

メンタルヘルス個別相談は、産業医契約事業場の2社について実施した。福山本部では、本年度も引き続き臨床心理士が契約事業場へ対応した。

(4) 健康づくり支援

「心とからだの健康講座」は、新型コロナウイルス感染拡大のため、すべての検診所で開催ができなかった。

また、季刊誌「BLOOM」を年4回発行した(発行部数5,500部/回)。その中の医療情報の特集「そこが知りたい!!」を別刷りし(4,700部/回)、事業場への配付や健診会場で必要な受診者に提供し併せて、公共施設にも配布し、広く有用な医療情報としての活用を図った。

令和2年は新型コロナウイルスの感染拡大により生活様式が一変した。そのような状況をふまえ「BLOOM」夏号は急遽誌面を変更し、新型コロナウイルス感染症対策を中心に編集した。また事業場の健康経営に資するため、毎号健康経営に関する情報を掲載した。

毎月発行して来た健康情報資料「健康だより」に加え、医療情報課より統計的資料やガイドライン、制度の変更など違った視点の健康情報資料「ちゅうろうの、ちょっと役立つ健康情報」の発行も開始した。

なお、季刊誌「BLOOM」・「健康だより」「ちゅうろうの、ちょっと役立つ健康情報」は、協会ホームページにて毎月最新版を閲覧ダウンロードできるようにし、健康情報に関する資料提供を行っている。

体力測定や健康相談等、地域イベントに参加し、啓発活動を行っているが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大のためイベント開催が中止もしくは規模が縮小され当協会の参加の機会はなかった。また、地域住民への健康支援として「健康セミナー」やロコモ健診を計画していたが、開催を見送った(表5「各地域の健康まつり等社会貢献事業への参加状況」参照)。

また、住民の健康増進に関する各種対策会議へ出席した(表6「各地域の健康増進協議会等への参加状況」参照)。

(5) 健康経営支援事業

本年度新規に健康経営支援事業を開始した。事業場の健康経営を推進し、健康経営優良法人取得のサポートを行う。総合労働衛生機関の強みを生かし、健康

診断結果の解析や事業場の健康問題の抽出、健康問題解決のアドバイスや個別指導や健康教育・運動実践指導を、健康経営エキスパートアドバイザーを中心に医師、保健師、管理栄養士、ヘルスケアトレーナーなどの専門職が行う。本年度は2社と契約し、健康経営優良法人申請のサポートを行った。

3. 作業環境測定事業（表7「作業環境測定実施状況」参照）

有機溶剤、粉じん等について、広島県および岡山県下等で延べ436事業場、1,757単位作業場の測定を行った。

また、作業環境測定（粉じん）の結果を集計し、その問題点と対策等を報告書に取りまとめ、事業場および関係機関に配付し、作業環境管理等の改善に資した。

なお、広島県産業安全衛生大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催されなかった。

日常的には、事業場からの測定や環境改善について電話相談や、ホームページからの相談に鋭意対応している。なお、事業場からの要望により、新物質の溶接ヒュームの取扱い等に係る訪問による相談・指導にも適宜対応した。

4. 医学に関する研究助成

研究助成は毎年8月に選考委員会を実施し助成対象を決定しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績の悪化が予想されたため、令和2年度の医学に関する研究助成事業は中止した。なお、令和3年度は例年通り実施する予定である。

5. 信頼される労働衛生機関

(1) 精度管理

令和2年度の健康診断に係わる血液及び尿検査等は、尿検査（試験紙法、機器法）、便潜血検査及び尿中代謝物（馬尿酸、メチル馬尿酸及びマンデル酸）以外の検査を外部に委託している。精度管理調査は、（公社）全国労働衛生団体連合会（以下、全衛連）が実施する臨床検査及び労働衛生検査（鉛・有機溶剤に係わる生物学的モニタリング検査）に福山本部及び各検診所が参加した（内部処理検査項目に直接参加し、外部委託検査項目には間接参加）。

その結果、臨床検査の平均は99.2、労働衛生検査の平均は99.5の評価点を得た（表8「臨床検査の精度管理調査結果」、表9「労働衛生検査の精度管理調査結果」参照）。

X線に係る精度管理調査では、全衛連が実施する令和2年度胸部X線検査精度管理調査に福山本部及び各検診所が参加し、その結果は平均 88.1 の評価点を得た（表 10「胸部 X 線検査精度管理調査の審査結果」参照）。

同様に、全衛連及び（一社）日本消化器がん検診学会が共同で実施する令和2年度胃部X線検査精度管理調査にも参加し、その結果は平均 88.2 の評価を得た（表 11「胃部 X 線検査精度管理調査の審査結果」参照）。

また、全衛連及び（公社）日本人間ドック学会共同実施の令和2年度腹部超音波検査精度管理調査に福山本部が参加し、94.0 の評価点を得た（表 12「腹部超音波検査精度管理調査」参照）。

作業環境測定に関する精度管理は、（公社）日本作業環境測定協会が実施する令和2年度の総合精度管理事業（粉じん）に参加した。結果は合格で、その有効期限は令和5年3月31日までとなっている（表 13「作業環境測定クロスチェックの評価結果」参照）

(2) 職員研修

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、学会、外部機関が開催する各種講習会あるいは研修会の多くが中止、もしくはWEB開催に変更となった（表 14「医師の学会等への参加状況」および表 15「医療技術職員等の研究会等への参加状況」参照）。

新規採用職員については、4月に「新人研修」を実施したが、例年実施する8月の「フォローアップ研修」は中止した。

新型コロナウイルスについて正しい知識を得るため、公立学校共済組合 中国中央病院 感染症内科部長 増成太郎先生に、緊急事態宣言中の4月に「新型コロナウイルス感染症に関して」と題してご講演をいただいた。

8月実施の夏季研修では、検診所単位で令和2年度目標および主要基本施策進捗状況の確認、問題点の抽出と対策の策定、標準作業書の見直し、リスクマネジメント事例の検討等を行った。

9月には、部長・次長・課長・課長補佐・理事長が任じた係長を対象に、新人事制度での人事考課方法や考え方を学ぶ「考課者研修」を実施した。

11月には、部長・次長・課長・課長補佐を対象に、法人事業ビジョンを深く掘り下げ、それを基に自部門ビジョンを策定し、最終的には経営層と一体となって経営改善・組織風土改革に取り組むべくステップを踏んだ「上位等級者向け部門運営者養成研修」を実施した。また、昼食時にはランチョンセミナーを実施し、保健師からメンタルヘルスのセルフケアと、管理栄養士から食事に関する研修を実施した。日を改めて、課長補佐・係長・主任を対象とし、モチベーションの高いチーム作りのため、情報共有や教育推進について、チーム単位で考える

事を最優先とした内容の「中位等級者研修」を実施した。

12月には、全職員を対象に、新人事給与制度の基での評価方法や心構え、如何に期待人材像に近づき、事業ビジョンを達成していくかを考える「被考課者研修」を実施した。

2月には、令和元年度に引き続き、中堅女性職員を対象に、就労意欲を高め長期勤続の意志を持たせるため、キャリアコンサルタント 佐藤恵子氏を講師に迎え「自分らしく働くためのキャリアアップ講座」と題して研修を実施した。また、当協会所属の保健師から女性特有の疾患について講演を行った。

3月実施の冬季全体研修は、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み WEB 開催とし、職員は各検診所で受講した。従来通り、令和3年度業務方針、個人情報保護に関する定期教育を実施し、加えて、医学的な見識を深めるため、特定医療法人 恵風会 高岡病院 顧問 藤本明先生から「わたくしの診たアルコール依存症」と題したご講演をいただき、医療法人社団 日本鋼管福山病院 乳腺外科部長 藤井清香先生からは「乳腺疾患について」と題したご講演をいただいた。また、新人事給与制度の理解度を深めるため、(株)日本経営 組織人事コンサルティング部 中野翔太氏を講師に迎え、事業ビジョン・期待人材像・人事ポリシー実現に向けた各自の行動目標を明らかにする研修を実施し、経営人事コンサルタント 山本紀道氏を講師に迎え「事業ビジョン実現に向けて私たちのあるべき姿を考える ～人間力を高める～」と題して研修を実施した。

令和2年10月からは、部長・事務長の任にある課長を対象とし、事業ビジョンを事業計画・KPI（業績評価指数）に落とし込む手法を学ぶ「上位等級者向け事業戦略深堀コース」の研修を継続実施している。KPIが定まり次第、KPIを達成することで事業計画の実現を目指すことの意義を全職員に発信する予定である。

(3) 事故等防止対策

各検診所で毎月行われるリスクマネジメント部会にて取り扱った全アクシデント・インシデント報告を2ヶ月に1回「安全管理委員会」にて解析し、改善策を討議・決定した。その一覧と重要事例および委員長の指示等は議事録にまとめ全職員で共有し、再発防止を図った。

なお、特に全体に周知すべき重要な事例は、毎月掲示も行い全職員による情報共有に努めた。

(4) 個人情報の保護

内部規程に基づき、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の見直しを目的として PMS 会議の開催および内部監査を行い、運用状況、見直し事項等を

確認した。個人情報保護マネジメントシステムの実行状況の確認を目的とした「個人情報保護委員会」を定期的で開催した。

なお、個人情報の開示申請は462件であり、適切にその処理を行った。

漏洩事故については、帳票の誤封入等が8件発生した。いずれも作業者の不注意による確認不足・検索ミスが原因であったため、確認チェックを行う等の再発防止対策をそれぞれに講じた。

(5) 労働衛生サービス機能評価の認定

尾道検診所および津山検診所は、4回目となる更新認定の申請を行い、両者とも労働衛生サービス機能評価委員会より令和3年2月にWEBでの調査を受けた。

(6) 精密検査対象者への受診勧奨

各種「がん」について「精密検査依頼書」を発行しているが、そのうちの未受診者に対して「はがき」による精密検査受診勧奨を行った。勧奨を受けた未受診者4,137名のうち精密検査を受けた中から13例が「がん」もしくは「がんの疑い」と診断された。

6. 検診車の整備等（表16「検診車、情報処理、健診機器、施設等の整備状況」参照）

車両更新計画に基づき、福山本部に配置されている心電図検診車1台及び津山検診所に配置されている胸部検診車1台を更新製作する予定であったが、新型コロナウイルス感染症に係る予算の見直しにより、計画を1年延期した。

健診機器等については、更新計画に基づき、無散瞳眼底カメラを5台（福山本部、鳥取検診所、津山検診所）及び解析付心電計を3台（鳥取検診所、津山検診所、米子検診所）の更新導入を行った。これにより、フルオートでの眼底写真の撮影及び全検診所で同一の心電計を使用した高精度な心電図検査の実施が可能となった。

また、全検診所において、使用頻度の高い視力計13台及びオージオメータ9台を更新導入し、情報機器健康診断に対応するために近点計6台を追加導入した。

なお、緊急時に使用する全検診所の自動体外式除細動器（AED）14台を更新設置した。

全検診所の施設等において、新型コロナウイルス感染症対策として、非接触式検知器（サーモマネージャ）、非接触式検温器、アクリルパーテーション、

手指用自動アルコール消毒器、CO2 測定器、除菌エアコンフィルタ等を設置した。

7. 禁煙対策の推進

今年度より開始したタバコに関する新たな問診形式に基づき、加熱式タバコの使用に関する実態調査を行った。当協会健診受診者の喫煙者の中で、加熱式タバコ使用割合は3割を占め、加熱式タバコ使用者が増加していることが判明し日本禁煙学会にて報告した。

加熱式タバコについても紙巻タバコと並行して禁煙対策の推進を図る。

8. 健康経営アドバイザー取得の推進

健康経営を内外で推進するため、職種を問わず健康経営エキスパートアドバイザー・健康経営アドバイザーの取得を推奨している。令和3年3月末現在で、健康経営エキスパートアドバイザー有資格者が2名、健康経営アドバイザー有資格者が144名となった。

9. 新人事給与制度への移行

新人事給与制度の説明会を令和2年8月から9月にかけて各検診所で実施し、12月度給与より、新給与体制に移行した。また、新人事制度での人事考課は令和3年4月から開始する。これをもって新人事給与制度に完全移行となる予定である。前述の通り、冬季全体研修でも事業ビジョン・期待人材像・人事ポリシーの浸透を目的とした研修を実施したが、今後も引き続き研修等を通じ、新制度の組織定着を図る。

10. 医師給与制度の改訂

一般職員を対象にした新人事給与制度の改定に一定の目途が立ったため、医師給与制度の改定を実施することとした。令和3年6月から新制度に移行出来るよう、令和2年1月から株式会社日本経営に支援頂きながら新制度案を作成中である。令和3年度は常勤医師へ説明会を実施し、スムーズな移行を図る予定である。

II 理事会、評議員会

1. 理事会

第1回 令和2年6月10日

「令和元年度事業報告」および「令和元年度決算報告」、「評議員会の招集」、「令和2年度医学に関する研究助成の中止」について審議、決議された。

第2回 令和3年3月5日

「令和3年度事業計画」「令和3年度収支予算」「評議員会の招集」について審議、決議された。

2. 評議員会

第1回 令和2年6月24日

「令和元年度事業報告」および「令和元年度決算報告」について審議、決議された。また、「令和2年度医学に関する研究助成の中止」について報告した。

第2回 令和3年3月24日

一部の評議員はWEBで出席頂き、「令和3年度事業計画」「令和3年度収支予算」について審議、決議された。

表1 令和2年度健康診断等の実績

項目	人員			金額(千円)		
	計画	実績	増減	計画	実績	増減
1.労働健診	285,660	279,483	-6,177	1,471,617	1,443,754	-27,863
(1)一般健診	167,387	161,160	-6,227	1,171,755	1,143,211	-28,544
①全項目健診	147,186	143,952	-3,234	1,115,353	1,094,460	-20,893
②省略健診	20,201	17,208	-2,993	56,402	48,751	-7,651
(2)雇入時健診	4,187	3,394	-793	34,893	28,809	-6,084
(3)特殊健診	60,821	63,047	2,226	196,066	202,830	6,764
(4)その他	53,265	51,882	-1,383	68,903	68,904	1
2.生活習慣病予防健診	79,706	79,411	-295	1,258,552	1,253,583	-4,969
(1)協会けんぽ	56,286	55,541	-745	856,004	843,396	-12,608
(2)組合健保	23,420	23,870	450	402,548	410,187	7,639
3.がん検診等	7,593	8,003	410	38,613	40,694	2,081
4.住民健診等	31,858	22,214	-9,644	121,701	93,931	-27,770
5.その他				9,951	14,053	4,102
小計	404,817	389,111	-15,706	2,900,434	2,846,015	-54,419
6.胸部CT検査	(2,107)	(1,788)	(-319)			
7.胃部内視鏡検査	(3,288)	(3,331)	(43)			
8.社会的弱者健診	513	327	-186			

※ストレスチェックは、1 労働健診「(4)その他」の内数、「7胸部CT検査」および「8胃部内視鏡検査」は、「2生活習慣病予防健診」および「3がん検診等」の内数である。

表2 保健指導等の実績

項 目	事業場数等(カッコ内人数)			金 額(千円)		
	計 画	実 績	増 減	計 画	実 績	増 減
産業医活動	107	109	2	48,147	48,219	72
保健指導(産業保健 契約等によるもの)	7	6	-1	2,102	1,240	-862
健康講話・運動指導(事業場等 での単発の集団指導等)	6	7	1	125	125	0
特定保健指導	87(1,096)	164(1,624)	77(528)	14,963	22,060	7,097
労災二次健診	—	(211)	(211)			
人間ドック・ プレミアムコース	—	(174)	(174)			
メンタルヘルス相談・ メンタルヘルス教育	2	2	0	780	740	-40
健康経営支援	—	2	2	—	135	135
心とからだの 健康講座	6	0	-6			
地域健康まつり等 イベント参加	19	2	-17			
協会主催セミナー等	12	4	-8			
地域自治会健康講話等	18	10	-8			
全衛連 (東電第一原発)					383	383

表3 講演会講師

検診所	実施日	対象	テーマ	会場	属性	講師
福山	6月1日	福山ロータリー クラブ 月間卓話	新型コロナウイルス感染症の 最新情報	福山ニューキャッ スルホテル	医師	宮田 明
	7月8日	広島経済同友会 福山支部 例会講話	新型コロナウイルス感染症の 最新情報	福山ニューキャッ スルホテル	医師	宮田 明
	2月26日	福山商工会議所 議員全員協議会 全員協議会講話	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)に関する 諸状況	福山ニューキャッ スルホテル	医師	宮田 明

表4 健康講話・運動指導(事業場等開催)

検診所	実施日	事業場等	テーマ	属性	講師
福山	6月17日	株式会社 ピーシーシー	大人の口臭ケア	保健師	池之平 五月
	6月24日	高正株式会社	ストレッチ&熱中症対策	ヘルスケア トレーナー	藤原 和典
	7月28日	株式会社 シーケーエス・ チューキ	受けるだけではもったいない！ 健診結果を活かそう！	ヘルスケア トレーナー	藤原 和典
	10月1日	アサヒ装飾株式会社	未来の健康を考える ～健診結果から健康づくりを！	保健師	中本 由里
	10月15日	株式会社 サンヨーフーズ 笠岡工場	健診結果を活かして もっとうと健康に	保健師	川久保 彩花
	1月22日	御池鐵工所 株式会社	健診結果を活かして もっとうと健康に	保健師	川久保 彩花
	3月18日	三菱電機株式会社 福山製作所	健康なカラダをつくる ～脂質の正しい摂り方	管理栄養士	西口 茉李

表5 各地域の健康まつり等社会貢献事業への参加

検診所	実施日	事業名	会場	参加内容	主催他
福山	7月19日	平田ふれあいクラブ	平田クラブ	運動実践指導	平田自治会・平田老人クラブ
	9月9日	福山市瀬戸老人福祉センター 第1回健康講座	福山市瀬戸老人福祉センター	運動実践指導	福山市瀬戸老人福祉センター運営委員会
	9月10日	福山市長浜学区健康講座	福山市長浜公民館	運動実践指導	長浜学区街づくり推進委員会
	10月14日	福山市瀬戸老人福祉センター 第2回健康講座	福山市瀬戸老人福祉センター	運動実践指導	福山市瀬戸老人福祉センター運営委員会
	11月11日	福山市瀬戸老人福祉センター 第3回健康講座	福山市瀬戸老人福祉センター	運動実践指導	福山市瀬戸老人福祉センター運営委員会
	12月9日	福山市瀬戸老人福祉センター 第4回健康講座	福山市瀬戸老人福祉センター	運動実践指導	福山市瀬戸老人福祉センター運営委員会
	1月13日	福山市瀬戸老人福祉センター 第5回健康講座	福山市瀬戸老人福祉センター	運動実践指導	福山市瀬戸老人福祉センター運営委員会
	2月3日	福山市瀬戸公民館 社会教育活動事業	福山市瀬戸公民館	運動実践指導	福山市瀬戸公民館
	2月10日	福山市瀬戸老人福祉センター 第6回健康講座	福山市瀬戸老人福祉センター	運動実践指導	福山市瀬戸老人福祉センター運営委員会
	3月10日	福山市瀬戸老人福祉センター 第7回健康講座	福山市瀬戸老人福祉センター	運動実践指導	福山市瀬戸老人福祉センター運営委員会
上記の地域自治会健康講話は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。 また、健康まつり等地域イベントは開催中止もしくは規模縮小のため参加せず。					
鳥取	7月31日	鳥取市糖尿病予防啓発キャンペーン	サンマート岩倉店	保健指導	鳥取市生活習慣病対策プロジェクトチーム
	8月25日	鳥取市糖尿病予防啓発キャンペーン	サンマート西店	保健指導	鳥取市生活習慣病対策プロジェクトチーム
尾道 津山 米子	健康まつり等地域イベントは、新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止。				

表6 各地域の健康増進協議会等への参加状況

検診所	実施日	事業名	主催他
福山	12月14日	福山市健康増進・食育市民会議 第1回全部会合同委員会(書面会議)	福山市保健部
	3月10日	福山市健康増進・食育市民会議 第2回全部会合同委員会(書面会議)	福山市保健部
鳥取	3月18日	令和2年度鳥取市がん対策推進会議及び 鳥取県東部圏域がん対策推進会議合同会議	鳥取市保健所 健康・子育て推進課
	3月25日	令和2年度鳥取産業保健総合支援センター 全体会議(書面会議)	鳥取産業保健 総合支援センター
津山	10月8日	第1回美作保健所国保ミーティング 管内市町における特定健診と特定保健指導の現状把握	美作保健所
	11月5日	第2回美作保健所国保ミーティング 特定保健指導の質向上のためのポイント	美作保健所
	12月22日	第3回美作保健所国保ミーティング 特定保健指導の実施率向上に向けた取組み	美作保健所

表7 作業環境測定実施状況

事業場数 (延べ)	測定単位作業場数(延べ)					
	有機溶剤	特化物	粉じん	金属類	その他	計
436	653	535	274	38	257	1,757

(注) 県別内訳は、広島 404 事業場、岡山 30 事業場、愛媛 2 事業場である。

全衛連精度管理評価基準(表8～12)

A評価(優)85点以上、B評価(良)70～84点

C評価(可)60～69点、D評価(不可)59点以下

表8 臨床検査の精度管理調査結果(全衛連)

検診所	福山	尾道	鳥取	津山	米子
評価点	99.8	99.4	98.9	98.8	99.3
評価点(平均)	99.2				

(参加項目:19項目)

表9 労働衛生検査(鉛・有機溶剤に係わる生物学的モニタリング検査)の精度管理調査結果(全衛連)

種別	測定物質名	評価点
有機溶剤	尿中馬尿酸	100.0
	尿中メチル馬尿酸	98.0
	尿中総三塩化物	100.0
	尿中総三塩化酢酸	100.0
	尿中マンデル酸	98.0
	尿中2,5-ヘキサンジオン	100.0
鉛	血中鉛	100.0
	尿中デルタアミノレブリン酸	100.0

表 10 胸部 X 線検査精度管理調査の審査結果(全衛連)

検診所	福 山	尾 道	鳥 取	津 山	米 子
画像1	87	85	86	90	88
画像2	87	89	87	91	88
画像3	91	86	89	89	89
評価点(1~3 の平	88.3	86.7	87.3	90.0	88.3
評価点(全体平均)	88.1				

表 11 胃部 X 線検査精度管理調査の審査結果(全衛連・消化器がん検診学会)

検診所	福 山	尾 道	鳥 取	津 山	米 子
評価点	92.4	91.2	75.7	86.7	94.8
評価点(全体平均)	88.2				

表 12 腹部超音波検査精度管理調査(全衛連)

分野	総合評価点数
腹部超音波検査	94.0

表 13 作業環境測定クロスチェックの評価結果

総合精度管理事業	評価項目		結果
	デザイン	デザインの審査	合格
	サンプリング	サンプリング流量の較正	合格
	粉じん	X線回折分析法	合格
	特化物	弗化水素分析	合格
	金属類	カドミウム分析	合格
	有機溶剤	混合有機溶剤分析	合格

(注)合格判定の有効期限は令和4年3月31日

(但し、粉じんについては令和5年3月31日)

表 14 医師の学会・研修会への参加状況

開催月	主催	研修内容・テーマ	会場	出席者数
9月	(公社)日本人間ドック学会	第56回認定医(2020年第3回専門医)研修会	Web	1名
	(一社)日本消化器がん検診学会	第59回日本消化器がん検診学会学術総会	Web	1名
10月	(一社)日本血液学会	第82回日本血液学会学術集会	Web	1名
11月	(一社)日本消化器関連学会機構	第28回日本消化器関連学会週間(JDDW)	Web	1名
	(一社)日本禁煙学会	第14回日本禁煙学会学術総会	Web	1名
	(公社)日本人間ドック学会	第61回日本人間ドック学会学術大会	Web	1名
12月	(一社)日本産業精神保健学会	第28回日本産業ストレス学会	Web	1名
2月	(一社)日本産業精神保健学会	第27回日本産業精神保健学会	Web	1名
	(一社)日本総合健診医学会	日本総合健診医学会第49回大会	Web	1名
	鳥取県健康対策協議会	令和2年度肺がん検診従事者講習会及び症例研究会	鳥取	1名
計	10回			延べ10名

表 15 医療技術職員等の研究会等への参加状況

開催月	主催	研修内容・テーマ	会場	出席者数
6月	広島産業保健総合支援センター	アフターコロナ対策① リモート疲れを吹っ飛ばそう！メンタルヘルス予防 ～すぐに使える！行える！効果的な呼吸法～	福山	1名
	(独)労働者健康安全機構 広島産業保健総合支援センター	アフターコロナ対策② 在宅ワークがあっても大丈夫！ パフォーマンスが上がる運動	福山	1名
7月	(独)労働者健康安全機構 広島産業保健総合支援センター	アフターコロナ対策③ 活動量減少による生活習慣病を防ごう	福山	2名
8月	広島県保険者協議会	特定健診、特定保健指導に関する人材育成研修会 基礎編「効果の出る保健指導の考え方」	広島	1名
	鳥取県・鳥取県保険者協議会	特定健診・特定保健指導従事者研修会 スキルアップ編① 「めざそう！ワンランク上のコミュニケーション」	鳥取	1名
9月	鳥取県・鳥取県保険者協議会	特定健診・保健指導従事者研修会 基礎編「特定健診・保健指導の制度概要について ～ポピュレーションアプローチとの連動を視野に入れた 支援について～」	鳥取	1名
	(独)労働者健康安全機構 広島産業保健総合支援センター	産業保健研修会 「テイクアウト弁当の上手な活用法！」	福山	1名
10月	(一社)日本消化器がん検診学会	第5回胃がん検診専門技術研修会	Web	6名
	広島県産業保健研究会	「活気・元気・勇気を与える言葉かけ Pep Talk ～対象者のやる気や元気を引き出す コミュニケーション法～」	広島	3名
	(独)労働者健康安全機構 広島産業保健総合支援センター	産業保健研修会 「生活習慣病予防 若い世代からやるべき予防対策」	福山	1名
	鳥取県・鳥取県保険者協議会	特定健診・特定保健指導従事者研修会 スキルアップ編②「成人歯科健診プログラムの活用 ～口腔疾患と全身疾患とのかかわり～」	鳥取	1名
	広島県保険者協議会	特定健診、特定保健指導に関する人材育成研修会 「効果的な保健指導の展開について」	広島	1名
11月	(公社)日本人間ドック学会	第61回日本人間ドック学会学術大会	Web	1名
	(一社)日本禁煙学会	第14回日本禁煙学会学術総会	Web	1名

11月	アスリード(株)	心エコー検査の正しい進め方と計測のコツ(ビギナー編)	Web	1名
	(一財)西日本産業衛生会 環境測定センター	個人サンプリング法に関する特例講習	広島	3名
	(一社)日本消化器関連学会機構	第28回日本消化器関連学会週間(JDDW)	Web	3名
	特定非営利活動法人 日本乳癌健診学会	第30回日本乳癌健診学会学術総会	Web	7名
12月	特定非営利活動法人日本肺癌学会	基礎と実践から学ぶ「呼吸器画像診断の会」第3回セミナー	Web	2名
1月	(一社)日本総合健診医学会	2021年度総合健診指導士・業務管理士研修会	Web	1名
	(公社)日本人間ドック学会	人間ドック健診施設機能評価 Ver.40 受審基準セミナー	Web	1名
	(公財)ニッポンハム食の未来財団	食物アレルギーオンラインセミナー ～共に創ろう笑顔あふれる食の未来～	Web	1名
2月	広島県消化器内視鏡技師会	「内視鏡から見た COVID-19 への対応策」	Web	6名
	(一社)日本総合健診医学会	日本総合健診医学会第49回大会	Web	1名
	特定非営利活動法人 日本CT検診学会	第28回日本CT検診学会	Web	2名
	特定非営利活動法人 精度管理評価機構近畿支部	新型コロナウイルス感染症に関する研修会	Web	1名
3月	(一社)日本消化器がん検診学会	胃部X線読影判定講習e-ラーニング	Web	3名
計	27回			延べ54名

表 16 検診車、情報処理、健診機器、施設等の整備状況(消費税抜き)

I 検診車		13,470,000
H31号 イメージインテンシファイア交換	福山	7,340,000
J11号 X線管装置交換	鳥取	1,810,000
667号 Console Advance 更新	米子	2,370,000
662号 X線管装置交換	米子	1,950,000
II 情報処理		146,851,807
標準システム		54,592,619
次期標準システム開発(テスト及び本稼働)	共通	45,000,000
タック総合健診システム機能追加	共通	5,897,619
血圧判定変更ソフトウェア開発	共通	2,310,000
2020年度 結果票データコメント修正機能	共通	429,000
2020年度 モバイル医師画面修正	共通	209,000
納品書のプログラム改修	共通	200,000
個人マスタCSV取込改修	共通	199,000
HBs 抗体の検査値変更対応	共通	198,000
2020年度 結果集計表出力プログラム修正	共通	150,000
その他		92,259,188
Server60 更新(CENTRAGE II)	共通	66,568,932
Server62 更新(DL20Gen10)	共通	4,431,068
モバイル端末	共通	9,602,200
FortiGate 更新	共通	928,000
Magic パックアップ用ハードディスク	共通	449,381
LANDESK 更新(NAS)	共通	371,500
パソコン・プリンター	全事務所	9,908,107
III 検診機器		148,391,300
医用画像情報システム SYNAPSE・NEXUS	共通	93,900,000
センター胸部 X線装置(高電圧発生装置・撮影台)	鳥取	11,380,000
センター胃部 X線管装置	福山	2,400,000
無散瞳眼底カメラ 5台	福山・鳥取・米子	11,000,000
解析付心電計 3台	鳥取・津山・米子	5,190,000
近点計 6台	全検診所	3,288,000
ハンドヘルドレフラクトメーター 3台	福山	2,910,000

AEDハートスタート 14台	全検診所	2,800,000
コンパクト視力計 13台	全検診所	2,697,500
オージオメーター 9台	全検診所	2,151,000
薬用冷蔵ショーケース 3台	福山・鳥取	1,050,000
普通騒音計 3台	福山	651,000
小型卓上遠心機 3台	尾道・鳥取・津山	531,000
診察ライト	鳥取	255,000
サイド実験台	福山	200,000
生物顕微鏡	尾道	190,000
電動光学台	米子	136,600
高速液体クロマトグラフ	福山	6,170,000
X線回析装置 XRD-6100 管球交換	福山	1,160,000
ミニポンプ 3台	福山	331,200
IV 施設等		1,640,000
福山健診センター2階 人間ドック待合改修工事	福山	900,000
尾道検診所 職員駐車場整備工事	尾道	740,000
V その他		7,986,746
業務車		3,459,882
軽自動車 3台	福山	2,581,273
軽自動車 1台	米子	878,609
Web 会議システム LAN 機器	全検診所	642,000
福山ドック待合室 Wi-Fi 環境構築	福山	199,000
19 インチマウントボックス	福山	184,500
尾道検診所 無線AP導入	尾道	110,000
一人掛ソファ 3脚	福山	480,000
ダストピット	福山	128,000
洗濯機 1台	米子	116,364
プロジェクター 1台	米子	172,000
絵画「向島から見た尾道」	尾道	1,535,000
絵画「尾道風景」	尾道	960,000
合 計		318,339,853